

春(令和6年度(2024年度))を迎える
小学校5、6年生、中学校1年生のみなさんへ



交野市の教育委員会で教育長という仕事をしている北田千秋です。
もうじき学年がひとつ上がったたり、中学校に進学したりする皆さんにお話をしたいことを
書きました。読んで下さい。

去年の7月6日、星田の妙見宮で「星の俳句コンテスト」の表彰式がありました。この
コンテストには、世界39か国から3817もの俳句の応募があったそうです。そのコンテスト
で賞を受けた作品のなかに、小学校5年生がつくったものがありました。内容は、戦争が
終わって平和になるよう、星にお願いするものでした。

その作品は交野の小学生のものではありませんが、交野の小学生や中学生の皆さんも同じ
ように平和を願っていると思います。誰もが優しい気持ちを持っているのに、争いや「い
がみ合い」はなくなりませんね。

人の悪口を言っている時の自分はどんな顔をしているか見えません。人に優しくしている
時の自分の顔も見えません。気持ちが顔に表れることがあります。人の悪口を言ったり非難
をしている時は、いつも言い返されたらこう言い返そうとか、反論されたらこう言って相手
をギャフンと言わしてやろうとか、そんなことを考えて、頭の中も心の中も余裕がないです。

人に優しくしている時に、これで褒美をもらえるかなとか、成績アップしてもらえるかな
とか思いませんか。だから、頭の中も心の中も余裕があります。顔つきも穏やかです。余裕
があれば色々なことを考えられます。発見もできます。人の気持ちを考えることもできます。

お金やモノの余裕があればうれしいです。それを豊かな生き方と呼ぶこともできます。同
じように、心に余裕があれば豊かに生きられます。それも豊かな生き方
です。そしてそれは、自分だけではなくまわりの人も豊かにできます。



誰もが幸せになりたいです。私もです。でも、自分だけではなくまわりも豊かになる、そ
んな幸せが広がれば素晴らしい社会ですね。

そんな社会をつくる可能性と能力をもっているのが皆さんです。

5年生の皆さんは4月から小学校の最高学年になります。6年生は中学生になり後輩の小
学生から見れば違う世界の先輩に見えるかもしれません。中学校1年生は2年生になりいよ
いよ中学校での先輩になります

皆さんの姿、コツコツやっている最高学年の姿、人として尊敬できる先輩の姿を後輩は
必ず見えています。その先輩の姿を受けついで後輩の姿を次の後輩が見て、またその後輩
が・・・、次々と人はリレーのバトンのように受けついで行きます。

自分がしっかり走れたら、その姿を見た次のランナーはその思いを
受けついで走っているはず。バトンをつなぎましょう。

